

キンボール

キンボールは、1986年カナダの体育教師マリオ・ドゥマース氏によって考案されたスポーツです。当時、若年層の無気力感や他人事には無関心である実態に危機感を抱いた彼は「生きる喜びなど感動の共有や協調性を高める」ことがこれからのスポーツの使命であることに気付き、試行錯誤の結果、このキンボールを生み出しました。このような背景のもとに生み出されたスポーツですから、子どもから高齢者まで、だれもが心を通わせてふれあえる生涯スポーツ、コミュニケーションスポーツです。

※入所後の打合せは行いませんが、確認表の事前提出をお願いします。



活動のねらい・期待される効果

- プレーの楽しさ、共に生きている実感、喜びを味わい、健康とたくましさを養うことができます。
- グループで作戦を立てたり、ゲームを進めたりする中、協調性や協力性を高めることができます。

一斉実施可能人数	36人	活動季節・条件	通年
所要時間	1～2時間	実施場所	体育館、柔道場など
主な対象	小学校中学年～		
指導について	要望があるときは、実施前に交流の家職員が用具の使い方、実施上の諸注意、ルール等について事前指導をします。このとき、ためしのゲームを行います(10～15分程度)。その後は、団体による自主運営で実施してください。		

活動の概略

○前日までに以下の内容を決めて、前日までに「確認表」を提出します。

- ◆チーム編成(1チームの人数、チーム数)
- ◆勝敗の決め方
- ◆貸出希望物品

○基本のルールでは以下のようになっていますが、チーム、勝敗の決め方は団体の実態に応じて変更可能です。

【チーム】

1チーム4人の3チーム対抗となります。

各チームの最大登録数は12人。

プレーヤー交代は、プレーが中断したとき、何回でも行うことができます。

【勝敗の決め方】

11点に達したチームがピリオドを獲得する。

4ピリオドを獲得したチームの勝ち。ただし、日本では時間制の1ピリオド7分で行うことが多い。

準備物

交流の家が貸し出しできる用具・材料

- キンボールセット(キンボール、空気入れ)
- ビブス
- ルール説明用資料(A3判 紙芝居形式)
- スコアボード(3チーム用)
- マーカーパッド
- 電子ホイッスル
- ストップウォッチ

利用者または団体で準備する用具・材料

特にありません。

交流の家で購入する物

特にありません。

当日の動き

- ①用具の受け取り 事務室で用具を受け取ります。その後、空気入れを利用して、ボールに空気を入れます。
- ②集合、準備 準備運動、ねらいの確認などをします。
- ③事前指導 キンボールのルール説明、準備運動、ためしのゲームを行います。
- ④活動(展開) 7分×3ピリオドを基本とし、団体の実情に合わせて柔軟に対応してください。
- ⑤振り返り 活動のねらいに沿った振り返りを行うと、研修の効果が高まります。
- ⑥用具の片付け、返却 ボールの空気は抜いて片付けてください。

安全対策・環境への留意点

- 事前に準備運動をしっかり行ってください。
- 1ピリオドは7分間としていますが、7分動き回ると相当な運動量になります。団体の引率者、担当者の方は、参加者の様子をよく観察し、適宜選手交代を促してください。